

細胞生物学 3

1 単位 (選択) 3 年 (後期)

Cell Biology 3

新垣 尚捷・准教授 / 薬学科 臨床薬学講座 医薬品病態生化学

【授業目的】 代表的な感染症を理解するため、病原微生物に関する基本的知識を修得する。

【授業概要】 代表的な感染症を引き起こす病原微生物について、特徴・病原因子・疾患に関する概説。

【授業形式】 講義

【履修上の注意】 予習復習をすること。

【到達目標】**1. 代表的な感染症**

- 1) 主な DNA ウイルスが引き起こす代表的な疾患について概説できる
- 2) 主な RNA ウイルスが引き起こす代表的な疾患について概説できる
- 3) レトロウイルス (HIV と HTLV) が引き起こす疾患について概説できる
- 4) レトロウイルス (HIV と HTLV) が引き起こす疾患について概説できる
- 5) グラム陰性球菌の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説できる
- 6) グラム陽性桿菌の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説できる
- 7) グラム陰性桿菌の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説できる
- 8) グラム陰性スピリルム属病原菌 (ヘリコバクター・ピロリ菌) の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説できる
- 9) 抗酸菌 (結核菌, 非定型抗酸菌) の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説できる
- 10) スピロヘータ, マイコプラズマ, リケッチア, クラミジアの微生物学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説できる
- 11) 代表的な原虫, 寄生虫の代表的な疾患について概説できる
- 12) プリオン感染症の病原体の特徴と発症機序について概説できる。
- 13) 院内感染について, 発生要因, 感染経路, 原因微生物, およびその防止対策を概説できる

2. 感染症の予防

- 1) 院内感染について, 発生要因, 感染経路, 原因微生物, およびその防止対策を概説できる。

【授業計画】

1. 授業ガイダンス
2. ウイルスの分類
3. インフルエンザウイルスの構造と増殖機構
4. インフルエンザの治療戦略
5. HIV と HTLV の構造と増殖機構
6. AIDS の治療戦略
7. 単純ヘルペスウイルスと C 型肝炎ウイルスの治療戦略
8. グラム陽性球菌の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患
9. グラム陰性球菌の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患
10. グラム陽性桿菌の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患
11. グラム陰性桿菌の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患
12. ヘリコバクター・ピロリ菌, 真菌, 原虫, 寄生虫の代表的な疾患
13. プリオン感染症の病原体の特徴と発症機序
14. 院内感染について / 発生要因, 感染経路, 原因微生物, およびその防止対策
15. まとめ

【成績評価】 試験, レポート, 出席など総合的に評価する。

【再試験】 実施する。

【教科書】 夏休み前に連絡する

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217203>

【連絡先】

⇒ 新垣 (088-633-7255, arakaki@ph.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 特に定めない)